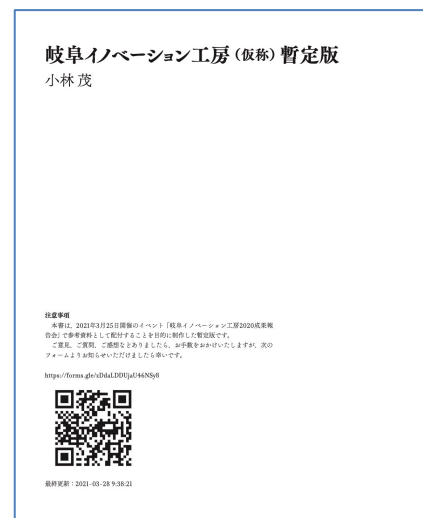


学内における活動

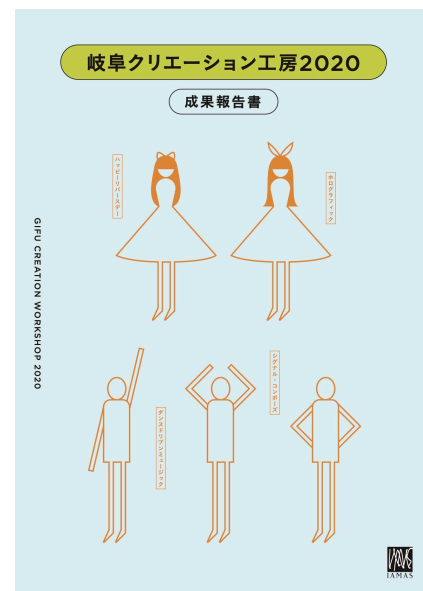
1 岐阜イノベーション工房

イノベーション創出に挑戦する風土を岐阜県内に醸成することを目的とした 2018 年度からの継続事業。3 年目となる今年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行に対応し、対面からオンラインに開催方法を変更した。太平洋工業株式会社（自動車部品、電子機器製品等の製造ならびに販売）、株式会社 羽島企画（介護トータルケアサービス、子育て支援など）、株式会社林本店（日本酒製造）の 3 社より 8 名が参加し、2 つのオンデマンド演習、6 回のリアルタイム演習に続き、各企業内で約 3 ヶ月間の実習に取り組んだ。今年度参加者と前年度前の参加者、合計 6 社の成果は 3 月 25 日に開催した成果報告会で発表し、うち 3 社は今後発売予定のプロダクト（製品・サービス）を発表した。2020 年度までの活動において醸成してきた考え方や手法については『岐阜イノベーション工房（仮称）暫定版』（約 5 万 6 千字）としてまとめ、成果報告会で先行配布、3 月 29 日に一般公開した。事業の統括とリアルタイム演習の講師を担当。



2 岐阜クリエイション工房

人文知と工学知の界面であるメディア表現に取り組む「アーティスト」たちと高校生などの若者たちが、共に試行錯誤しながら作品をつくることを通じて、発想力や創造力を学ぶワークショップ（2 年目）。今年度は、昨年度の趣旨を引き継ぎつつ、新たなテーマを設定し、対面からオンラインへと開催方法を変更した。これにより、新型コロナウイルス感染症や自然災害のリスクがゼロになるだけでなく、従来は物理的な距離の制約から参加できなかった人々にも参加の機会を開くことができた。「Happy Rebirthday」では、アバターの人生を記録したビデオレターを作成し、制作を通じて参加者の間で議論し、死後のインターネットアカウントのあり方、デジタルキャラクターなどの生や死、「これからの日常」のインターネットリテラシーについて考えることに 2 名の講師と 11 名の参加者が取り組んだ。「新しい日常」から生まれる DanceDrivenMusic」では、Web 会議ツールと AI を自作できる Web サービスをベースにした合奏システムを活用し、体を動かすことで音を鳴らし、それを繋げた踊りから音楽を生み出し、リモートでリアルタイムに合奏することに 3 名の講師と 13 名の参加者が取り組んだ。事業の統括と成果報告会の運営を担当。



3 Ogaki Mini Maker Faire 2020

様々な分野のつくり手「Maker」たちが全国から集まり、つくったものを見せ、語り、その楽しさが伝播するDIYの祭典。「つくることから、はじめよう。もの／あそび／ぶんか」をテーマに2010年より隔年で開催し、家族で楽しめるイベントとしてすっかり定着している。今回は、物理会場とオンライン会場を組み合わせたハイブリッド開催という新たな手法に挑戦した。出展者、来場者、主催者の全てが感染拡大防止に取り組むことにより、安全に楽しめるイベントを実現できただけでなく、全世界に先駆けてハイブリッド開催のあり方を提案できた。物理会場には33組が出展し、約650名が来場。オンライン会場には10組が出展し、リアルタイムで配信した動画は1,600回以上再生された。総合ディレクターを担当。

<https://www.iamas.ac.jp/ommf2020/>



4 入学試験委員会（委員長）

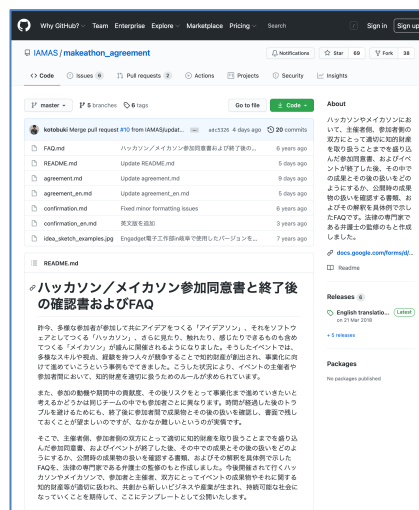
今年度は大きく3つの変革に取り組んだ。まず、2021年度に新設する博士後期課程の募集要項を作成し、入学試験を設計した。次に、これまで対面で行ってきた入試の開催方法をオンラインに変更しつつ、面接、口述、論述を組み合わせることにより、これまでと同等以上に充実した審査が行えるよう設計した。さらに、日本語を母語としない人に求める語学能力を明示した。具体的には、日本語能力については日本語能力試験（JLPT）と日本留学試験（EJU）、英語能力についてはTOEFL iBTとIELTSを採用した。

学外における活動

1 革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)

「感性とデジタル製造を直結し、生活者の創造性を拡張するファブ地球社会創造拠点」(中核拠点：慶應義塾大学、 Grant 番号：JPMJCE1314)に参画機関の研究者として参加した(9年間で8年目)。主な成果として、2014年に公開した「ハッカソン/メイカソン参加同意書と終了後の確認書およびFAQ」の活用状況を調査し、更新すべき点を明確にした上で、法律の専門家である弁護士の監修のもと更新、3月31日に公開した。この他、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行後に立ち上がったDIYプロジェクトにおける課題についての調査も行い、成果物を2021年度に公開予定である。

https://github.com/IAMAS/makeathon_agreement



2 ものづくりスタートアップ・エコシステム構築事業

経済産業省の令和2年度予算「グローバル・スタートアップ・エコシステム強化事業費補助金(ものづくりスタートアップ・エコシステム構築事業)」の一環として行われた『「ソフト・ハード融合」領域におけるスタートアップのための社会実装ガイドライン』に関する検討会にメンバーとして参加した。この検討会の成果物は本冊と別冊、合計2冊からなるガイドラインとして公開され、スタートアップやスタートアップに関わる製造企業、ベンチャーキャピタル、大企業、金融機関、自治体等が参照できるようになっている。

https://startup-f.jp/guideline_jissou/



3 グッドデザイン賞 2020

公益財団法人日本デザイン振興会が主催する総合的なデザイン賞に、「ユニット 09：情報機器」の審査員として参加した。